

令和7年度 第3回相生小学校運営協議会 会議録（要点記録）（※敬称省略）

- 1 開催日時 令和7年11月12日（水） 13時45分から16時00分
- 2 開催場所 相生小学校 多目的室
- 3 出席委員 大谷一雄、水谷加寿代、原隆之、廣野篤男、鈴木麻衣子、
中川有香(学校支援コーディネーター)、高橋克好、鈴木徹也
- 4 欠席委員 森田賢児
- 5 オブザーバー 神谷匠（東部協働センター）
- 6 学校関係 小林延和（校長）、岡本綾子（教頭）、前田武稔（主幹教諭）、
伊藤龍彦（CSディレクター）
- 7 学校支援コーディネーター 松本薫
- 8 浜松市教育委員会 学校・地域連携課地域連携グループ 鈴木陽子
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 伊藤龍彦
- 11 議長の選出

司会から、議長の選出について意見を求めたところ、中川委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- (1) 「多様性を認め合える安心感のある学級・学年・学校づくりの具体策」について
～「学校の現状」を知っていただき、「支援の方法や関わり方」について共に考える～

13 会議記録

司会の前田主幹教諭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(熟議)「多様性を認め合える安心感のある学級・学年・学校づくりの具体策」について

《児童の安全な生活のために》

① 登下校時の安全確保

- ・ 登下校については、地域が一番手伝いやすい。しかし、新規で参加する人の確保が、課題となっている。(廣野委員)
- ・ 地域の方への呼び込みが課題である。学校が、もっと門戸を広げてはどうか。地域の方も、見守りや昔の話などで、学校と連携することが、できるのではないか。(麻衣子委員)
- ・ 学校が地域に門戸を広げてくれるとありがたい。(水谷委員)
- ・ 昔は、ワンワンパトロール隊などがあり、見守りや声掛けをしてきていた。今でも、犬を連れて散歩する人が多数いる。うまく連携が取れれば、散歩の方が、見守りになる。(原委員)
- ・ それにより、防犯効果も高まるのではないか。(会長)
- ・ 黄色いピブスは、各町内に案内して、行くのがよい。江東地区の理事会で、紹介する。100枚くらい必要になる。(廣野委員)
- ・ 散歩コースの一環として、学校を含むというのはどうか。他の人がしているボランティア活動の様子を『見る』ことで、広がる。(麻衣子委員)

◎ たすきの申込用紙を、学校で準備して、学校だよりを配布するタイミングで同封して活動に参加してもらう。

② 始業前の時間における子供たちの安全な居場所の確保

③ 休み時間（特に昼休み）における質の高い見守りと指導

- ・ 朝の運動は、楽しみにしている子も多く、ストレスを発散させることができ、子供たちにとっては、いいことだと考えている。（校長）
- ・ 学校として、この見守りが難しいと考えている点はどこか？（中川委員）
- ・ 時間帯的にボランティアが集まるかどうかという点と教職員の勤務時間外であるという点。最近では、朝の外遊びをやめている学校もある。（校長）
- ・ CSルームを作って欲しい。休憩・待機・コミュニティの場となり、活動時間帯以外でも使用や急な助っ人も可能になる。（麻衣子委員）
- ・ 地域のボランティアの方が足を運んでくれる学校づくりも必要だと考える。（校長）

《児童の充実した学習のために》

④ 授業中の個に応じたきめ細やかな学習支援

⑤ 子供の主体的で意味のある家庭学習の実現と質の向上

- ・ たとえば九九の練習量は、長男の時より徐々に減っている。九九を聞くボランティアがあると助かる。教えるのではなく、確認・聞くだけならできると思う。（中川委員）
- ・ 賛成。時期的に集中して人を増やす。CSボランティアを活用できる。漢字の丸つけなどもできるのではないかと。（会長）
- ・ 子供が、遊びの誘惑の中で、なかなか集中できない。集中するという状態を分かっていない。それを分かるようにする方法が、何かあるか？（鈴木徹也委員）
- ・ 小学生ぐらいだと、ご褒美作戦（ポイント・シール・パス券）が有効だと思う。（麻衣子委員・中川委員）
- ・ 小学校と中学校の差。小学校からの学習姿勢、習慣が必要だが、家庭学習が減少傾向にある。中学への学力につながらない。先生の負担が大きければ、専門家や企業などと連携が取れないか。（学校支援CD松本）
- ・ 大学生に依頼できないか。（中川委員）
- ・ 小、中の学習内容のギャップがあり、勉強嫌い、苦手が増え、二極化してきている。学習習慣や基本を身につける必要がある。（会長）
- ・ テストの勉強の仕方がどうしたらいいのか分からない。自主勉ノートのやり方ができる子もいるが、子供たちへのやり方の提案もして欲しい。（中川委員）
- ・ 学内の掲示板も図書ボランティアの環境整備で対応できるかもしれない。（麻衣子委員）
- ・ CS日よりや風・太応援団よりも地域回覧してもいいのではないかと。（会長）
- ・ 学校の電話対応が人手不足で大変と聞く、電話対応時間を限定してはどうか。（原委員）
- ・ 学校への要望として、CSルームをつくることによって活動がスムーズになると思う。（麻衣子委員）

1.4 その他の報告事項等

司会から令和7年度第4回学校運営協議会は、2026年2月25日（水）8:00～

11:00 多目的室で開催する旨の報告があった。

8:15～ 8:35 感謝する会

8:40～ 9:20 風の子・太陽の子応援団まとめの会

9:25～11:00 学校運営協議会